

松蔭 校長室だより

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

2021年 3月 19日 発行

松蔭中学校・高等学校

校長 浅井直光

(今年度よりデジタル配信です)

“I once was lost but now I am found, was blind but now I see.”

「迷っていた私を、神様は見つけて救い上げてくださった。見えなかった愛が今は見える」(Amazing Grace 1 番より)

年度末を迎えて 新年度の学校時間帯など

本日、3学期の終業式および中学卒業式を行いました。卒業生による「アメージンググレース」の合唱が中学卒業式の定番でしたが、今回は感染予防対策として事前に録音した歌声を会場に流しました。幼い頃は「親の手」に全てを頼りきりだった子供たちも、小学校高学年にあがる頃には少しずつ手が離れ、「親の目」で行動を見守るだけで済むことが多くなりました。「子供時代の安定期」と言われるこの時期を経て迎えた中学時代。思春期前半のこの年代、身体の急速な発達と精神の成熟が、歩調を合わせることはありません。行動範囲が物理的にも心理的にも瞬く間に広がり、「親の目」が届かないところで、子供は他者との人間関係作りを始めます。新しい「社会」にデビューし、友人たちの家庭の価値観に戸惑いながら、未知の世界で不安と動揺を重ねる中学時代。親世代との違いは、言うまでもなくスマホにSNSです。前に進むと思えば戻ったり、感情の浮き沈みを繰り返したりして、「疾風怒濤」と形容される嵐の時代を中学3年生は生き抜き、義務教育の修了の日を迎えました。「気付くこと」「見えるもの」が増える一方で、「足りないこと」「身に付けるべきこと」が多くあるように思います。中学卒業を節目の時と意識し、4月から迎える高校時代には、「親の心」を静かにかけてもらいながら、精神的な自立を果たし、「個」が確立できるよう前向きに進んでほしいものです。

昨年3月の全国一斉休校以来、1年に及ぶコロナ禍は、いまだ私たちの生活に影響を与え続けています。他国に比べ、大きく遅れをとっていたワクチン接種がようやく始まりました。一般接種は夏以降とのことですが、収束に向かう端緒がおぼろげながら見えてきたようです。

学校HPには、「本校の感染症対応について(3月6日改訂版)」を掲載しています。「学校の感染症への対応について(4)学校運営ガイドライン」では、現在の感染状況を「レベル2」とし、「地域に感染拡大が見られ、特に濃厚接触となる可能性が高い時間帯(昼食時、部活動等)を通じた校内クラスター発生に警戒を要する」段階としています。これにより3月も時差登校、短縮授業を行ってきました。今後の年度替わりの時期には、人の移動が激しくなり、変異ウイルスによる第4波も想定されています。春休み中のご家庭での生活につきましては、感染予防を第一とし、新学期を健康、安全に迎えることができるよう、ご家族の皆様共にご協力をよろしくお願いいたします。

新年度については、以下のとおり予定しています。詳細は、各学年の「学年だより」等をご覧ください。

- 1) 新学期より通常の学校時間帯で運営します。ハンドブックで時間帯を確認ください。
- 2) 引き続き、濃厚接触(マスク無し、1m以内で15分以上会話)の回避と活動場所換気、各自の基本行動(手洗い、手指消毒)を徹底します。昼食時とクラブ活動を最も警戒を要する学校活動とし、教室での昼食指導を継続します。
- 3) クラブ活動については生徒部より別に連絡します。春休み中の合宿は行いません。
- 4) 教室前の生徒用トイレ清掃については再開し、学年ごとに各クラスで分担します。
- 5) 教職員は下記事項を申し合わせています。
 - 校内ではソーシャルディスタンスがある場合を除き、常時マスクを着用する。
 - 職員室での飲食は可とするが、会話を控える。 ○不要不急の会食など控える。

欠席、遅刻の連絡に Classi を利用します

学校への欠席連絡の方法を変更することになりました。今年度までは当日朝、保護者の方に事務室への電話をいただいていたのですが、新学期からは、Classi を利用して届けていただくこととなります。当日朝、8 時20分までに入力・送信していただき、この時刻以降は、電話連絡となります。電話連絡の場合には、必ず 8 時20分以降におかけください。Classi への入力は、前日より以前でも可能です。詳細については、本日、配布の文書をご覧ください。

皆勤賞の将来的な廃止について 「休める」社会へ

中学、高校それぞれの卒業式では中学 3 ヶ年、高校 3 ヶ年、中高 6 ヶ年の皆勤を顕彰し、それぞれの皆勤賞を授与します。拍手と共に讃えられる生徒の誇らしげな表情は素晴らしいものです。学業の成果とは別の物差しが学校にあることは、教育的に適切なことだと思います。

しかし、風邪や発熱で欠席しないよう親子で常に注意しながら生活を送り、健康面の厳しい自己管理の結果としての皆勤賞が本来のあり方ですが、プロセスを一挙に飛び越し、受賞のみを目標としてしまう場合もあるようです。皆勤賞を廃止する学校が増えてきましたので、本校でも 3 年程前から検討を開始しました。特にコロナ時代のこの 1 年には、体調不良や微熱を押しての登校は、感染症予防の観点からも適切な行動とは言えないでしょう。

近年の「働き方改革」の動きも、皆勤賞廃止の流れを後押ししました。いわゆる「働き方改革」関連法案が順次施行されています。近いところでは、全ての事業所において、年間 5 日以上の有給休暇取得が義務化されたことをご存知かと思います。過労死を防ぎ、ワークライフバランスを保ち、心身とも健全に働き続けること。仕事を「休む」、「減らす」選択のハードルを下げ、その選択を社会全体で認め合うことが「働き方改革」の趣旨だと理解しています。生徒たちは将来、何らかの形でキャリアを重ねながら、生涯を通して働きます。仕事を「休む」ことが法的には勿論、心情的にも「ふつう」にできることが、これからの時代に求められるように思います。学校も、社会でのキャリア形成の前段階として、生徒の認識を今後の社会の方向性に一致させたいと考えています。

以上のような社会情勢に鑑み、中学、高校の皆勤賞の廃止を決定しました。皆勤を目指して頑張っている生徒がいますので、次のように段階的に廃止します。高校では、2021 年度高校 1 年生より、高校卒業時の 3 ヶ年および 6 ヶ年の皆勤賞授与を取りやめます。今年度の高校 1 年生、高校 2 年生は、高校卒業時に授与します。中学については、今年度の中学 1 年生より中学皆勤賞授与を取りやめます。中学 2 年生は中学卒業時に皆勤賞を授与しますが、高校進学後は高校 3 ヶ年、中高 6 ヶ年の皆勤賞はありません。皆勤賞に準ずる精勤賞を PTA からいただいていたのですが、これも廃止します。本日の終業式で生徒たちに説明し、意見があればいつでも話しに来てほしいと伝えました。

余談ですが、3 学期の終業式が終わった後、1 年間欠勤せず勤務した先生方に対し、校長室で「皆勤賞」を授与していましたが、3 年前に廃止しました。また、私立学校は、公立学校と同じく教育基本法、学校教育法など教育関連法規の遵法義務がある一方で、民間企業同様に、様々な労働関連法規に則り運営されます。私学教員は、上述の有給休暇取得義務化の対象となっていますし、本校では、学校 6 日制のもと、週あたりの労働時間が所定時間を超過しないよう、1 年単位の変形労働制を採用するとともに、学期中の授業日に「勤務を要しない日」を設けています。この日を「研究日」と呼称しますが、生徒に迷惑をかけたか、教育活動へマイナス面が生じたりしないよう学年団でカバーするよう努めています。この点につきましてもご理解いただけますと幸いです。

新年度始業の行事予定

詳細は、各学年からの連絡でご確認ください。

4 月 7 日（水）中学・高校入学式 * 新入生のみ

4 月 8 日（木）8：45 朝礼 始業式・HR・クラス写真撮影

4 月 9 日（金）授業開始